



一麦だより

No. 6

2026.10.1

わたしたちの「違い」は、神さまから与えられた賜物

空に見える雲、虫の音や木々の色づきと実りに秋を感じる季節となりました。暑さも和らぎ朝夕は涼しくなってくる10月は子どもたちにとっても屋外で活動するにもじっくり集中するにもよい季節です。日々の保育や親子で遊ぼうデー、遠足、園外保育などの活動を通して秋の空気を感じながら思い切り身体を動かし、感じたこと経験したことを表現し、友達との楽しい遊びや交わりを通してさらに一段と成長していくことを願っています。

さて、9月初旬、東京にあるキリスト教主義私立中高等学校の生徒礼拝で高校3年生が語ったメッセージが学校のホームページに掲載されSNSでバズったそうです。この学校の生徒礼拝は、高校3年生が下級生に向けて学校生活で学んだことを踏まえて、自分の思いや伝えたいことを語るそうです。このメッセージに際して読まれた聖書箇所は、「身体は一つの部分ではなく多くの部分からなっています」〔新約聖書コリントの信徒への手紙一12:14-18〕と異なる働きを持つ一人ひとりが一つの体を形づくることを説く箇所です。メッセージの中で自身が料理や裁縫で失敗を重ねた経験、人の話を聞いたり複数のことを同時進行させることに難しさを感じたりしていることに触れ、他の人が当たり前に見えることが自分には難しいのは、怠惰さや傲慢さによるところで、自分を消したいと思ったとも語っています。検査を受け自身の側面には「こうではないかという名前」があるとしながらも、それは治すものではなく付き合っていくもの、自分を自分たらしめているものと受けとめるようになったと語っています。そこから「多様性」について、誰かのために学ぶものではなく「明日のあなた」のためになるかもしれない、自分自身もいろいろな人の中の一人であるとし、知ることによって違いを打ち明けた人に「安らかな木陰」を与えられると続きます。そして、メッセージの最後で次のように語っています。「人は一人一人違います。それが自然なことだと知っていることは、心を照らすろうそくの火になります。いつかあなた自身が、自分は周りとは少し違うのかもしれないと思ったとき、もしくはあなたの大切な人にその違いを打ち明けられたとき、その火はあなたとあなたの大切な人を照らしてくれます。わたしたちの「違い」は、神さまから与えられた賜物だと思います。わたしたちはそれを否定的なものや確執として捉えがちですが、今一度聖書の言葉に耳を傾けて、一人一人が神さまに愛される大切な存在なのだとことを覚えていてほしいと思います。たとえそれが小さな火であっても、あなたとその人にひと時の安らぎを与え、暗闇を追い出してくれるかもしれません。そのような灯火が、一人一人の心で絶えることなく輝き続けるよう、祈っています。」

子どもたちは、成長する過程でたくさんの人と出会います。その中で自己を主張し、友達や大人との交わりを通して自分を知りその存在を確認しながら成長していきます。時に背伸びしたり苦い経験をしたりすることもあるかもしれませんが、大人が子どもの意見や気持ちを大切にすることで、違いを認め合い、自身の賜物に気づきながら成長してくれるよう願っています。

「神は、御自分の望みのままに、体に一つ一つの部分を置かれたのです。」

〔新約聖書コリントの信徒への手紙一12:14-18〕

< 今月のお知らせとお願い >

◆ 行事予定

- ・ 3日(土) つきぐみクラス会 (9:00～)
- ・ 6日(火) 親子で遊ぼうデー予行練習
- ・ 10日(土) 親子で遊ぼうデー
- ・ 15日(木) 全園児内科検診(14:30～)
- ・ 16日(金) 眼科検診(14:30～)
- ・ 20日(火) 秋の遠足 そら組・ほし組
- ・ 26日(月) 宇田先生(育児コンサルタント)来園
- ・ 27日(火) 秋の遠足 つき組・にじ組
- ・ 28日(水) お誕生日会

1 1月の予定

- ・ 3日(祝) 一麦バザー
- ・ 6日(金) 甲山遠足(5歳児) 予備日…10日(火)
- ・ 9日(月) 歯科検診(9:00～)

◆ その他

1. 敬老の日に、子ども達から祖父母様宛にお送りしました贈り物を喜んで下さり、園にも祖父母様からお礼のお便りをたくさん頂きました。
ありがとうございました！
2. 前期のスナップ写真の申し込みを行います。(10月後半予定)
期限内に申し込みを忘れずに行ってください。
期限を過ぎましたら申し込みが出来なくなりますのでご注意ください。
3. 保育園への送迎の際、子ども達が道路に飛び出して危険な場面が見られるという近隣の方からの報告がありました。保育園前の道路は車も頻繁に通りますので、送迎の際にはお子様から目を離さないよう、また道路に飛び出すことのないようくれぐれもご注意下さい。なお、駐輪場前の歩道を自転車に乗られたまま走られますと危険ですので、歩道上は自転車を押して歩いていただきますようよろしくお願いいたします。子どもたちの安全を守る為、ご協力をお願いいたします。